

芦屋神社

「市花」のコバノミツバツツジが多い境内には、黒松、赤松、かしなどの木々が多く、また7世紀の横穴式石室をはじめ、宝塔、歌碑など、芦屋の生活文化史を彩るものが多数あります。



芦屋神社
参集殿

ASHIYA SHRINE



大正時代

芦屋今日明日

まちの表情

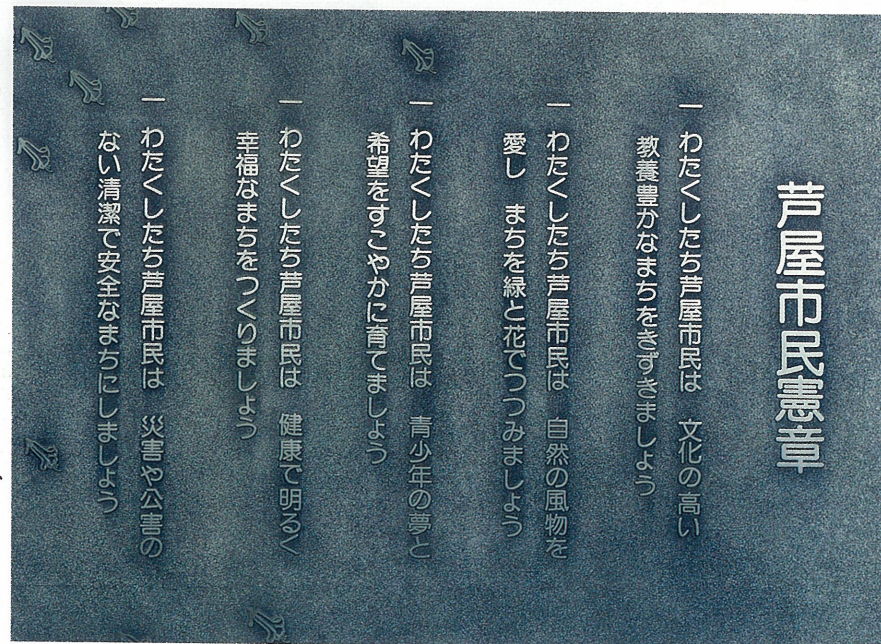
海と山にはさまれた豊かな自然環境と優れた都市機能をもつ芦屋。国際文化住宅都市建設法、市民憲章にうたわれたまちづくりの理念は今も変わりません。

ここでは、市制50周年を迎えた芦屋の姿をご紹介します。



芦屋市市庁舎

市庁舎ロビーにある市民憲章のレリーフ 国際文化住宅都市の市民として、心の支えになる申し合わせをと、昭和39年5月制定された市民憲章。レリーフは59年11月に掲げられた。



はしご車を使っての消防訓練 住宅地域の高密度化に対応して、最新の設備や機材を導入して機動力が增強された。



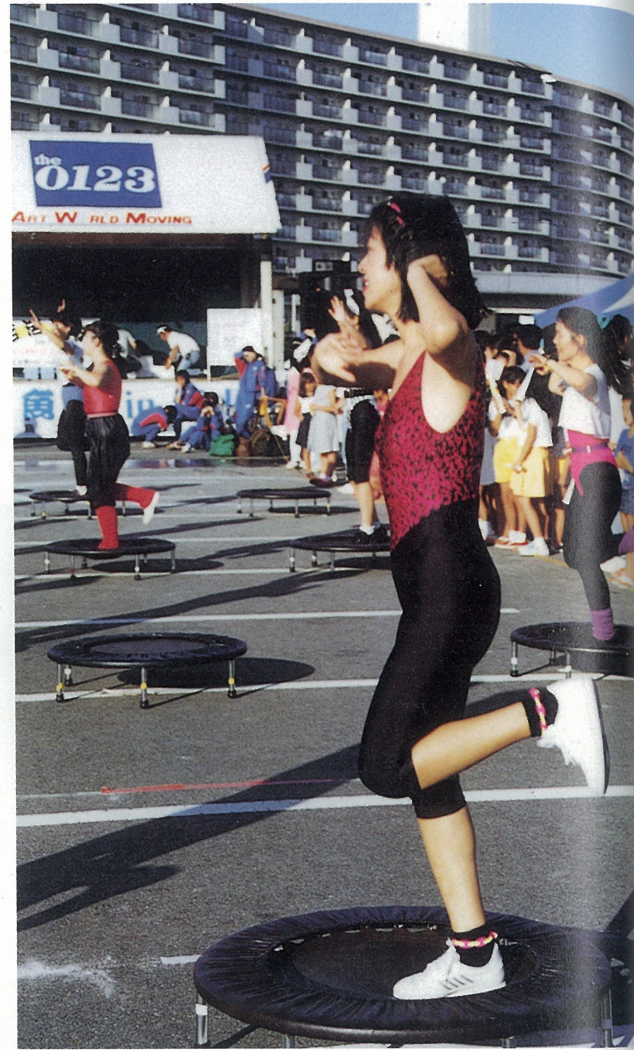
幼児検診 保健センターでは、市民の健康を総合的に管理し、成人病検診・幼児検診などの各種検診や予防接種、健康相談を行っている。



ごみの回収作業 週3回収を他市に先駆けて実施するなど生活環境の向上に努めている。また芦屋浜住宅団地内では、真空集じん装置による近代的なごみ収集が行われている。



トランポピクス



トランポピクス



フランスの伝統スポーツ ペタンク



ゲートボールに興じるお年寄り



JR「新快速」停車 平成2年3月、JR芦屋駅は新快速の停車駅となった。



通勤・通学の人波であふれる阪急芦屋川駅



「細雪」に登場した三角屋根の医院



阪神打出駅前



朝のジョギング風景



朝の通学風景



芦屋中央公園にて



スーパー、親子でショッピング

学 校

幼稚園16、小学校10、中学校5、高校6、
大学3校（各私立を含む）がある芦屋市では、
子どもたちが心身ともにたくましく人間性ゆ
たかに育つよう基礎学力づくりの徹底を図る
とともに、知・徳・体のバランスのとれた学
校教育をすすめ、一人ひとりの可能性を伸ば
していけるよう力を注いでいます。



読書を楽しむ生徒たち



通学中の生徒 「おはよー！」—はずむようなあいさつが飛び交う通学路。



緑の広場で遊ぶ子どもたち



パソコンを使った授業



桜の木の下で「記念写真」



打出浜小学校土俵開き 昭和63年3月

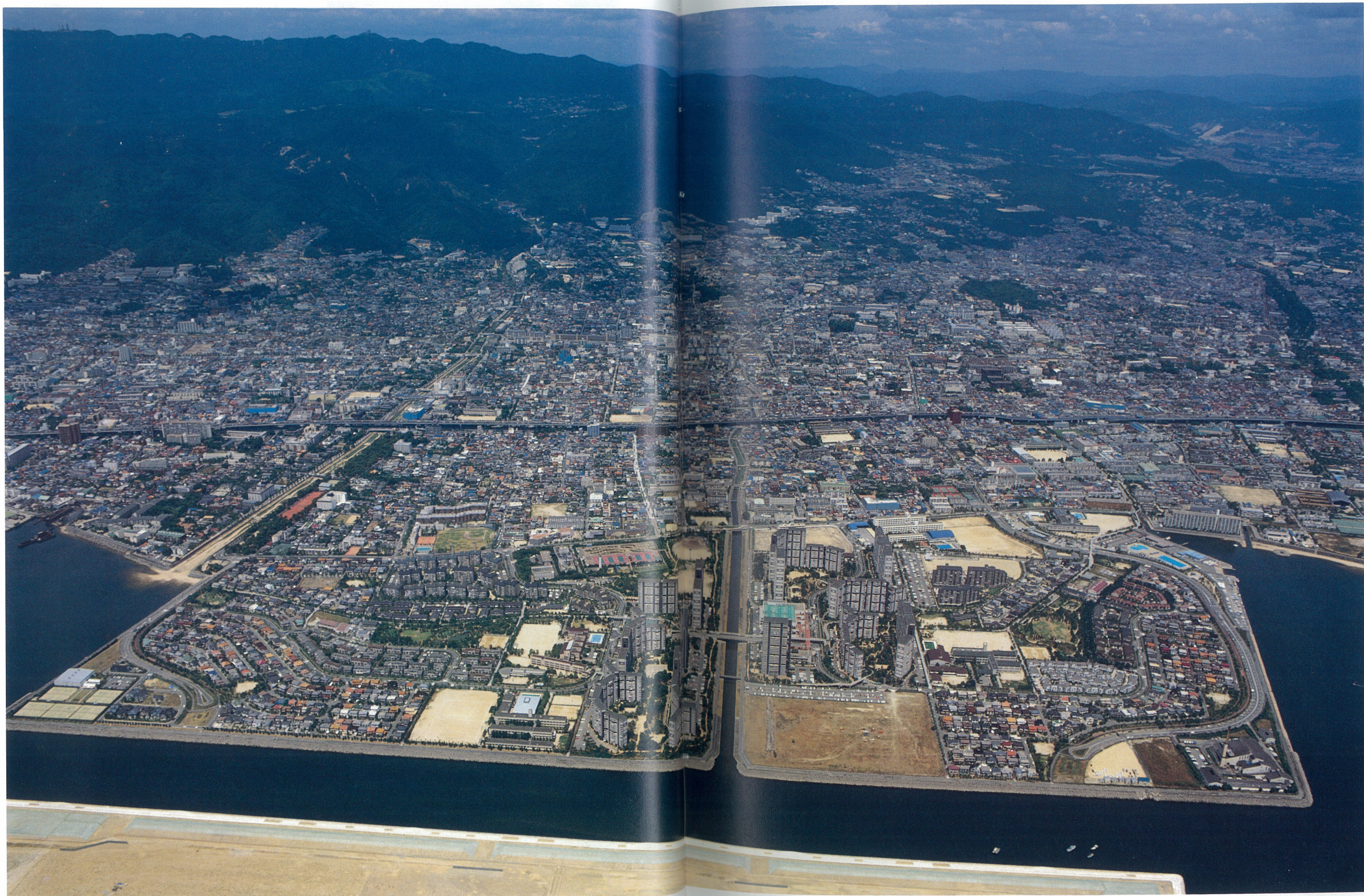


生徒たちの手で番組づくり



少年サッカー大会

芦屋市全景



花と緑

街角に咲く美しい花は、人びとの心をなごませ、私たちの目を楽しませてくれます。

ビルの屋上、駅前の花時計、公園の花壇、民家の庭先に、街並みのアクセサリとして花は欠かせません。

芦屋市では、花と緑につつまれた、うるおいのあるまちづくりをすすめています。



城山



花いっぱいの幼稚園



緑に抱かれて遊ぶ子どもたち



芦屋中央公園



庭先に咲くコスモス



バラ園



阪急芦屋川駅前の花時計



通りを彩どるアジサイ



ラポルテ・デッキの花壇



コミュニティ道路



霊園参道の桜

人びとのいこい・レジャー

緑の山と海に面し、穏やかな気候に恵まれた芦屋では、ロッククライミングからマリンスポーツまでいろいろなスポーツが手軽に楽しめます。

また都市河川の中でも見事な景観を誇る芦屋川は、住む人にとっても、訪れる人にとっても、いこいと安らぎを与えてくれます。



芦屋浜 早朝セーリング



昔の松林のおもかげを残す芦屋公園



芦屋川の上流で自然に親しむ



芦屋川上流の溪流



自然美が満喫できるハイキングコース



美しい奥池のほとりでいこう人びと



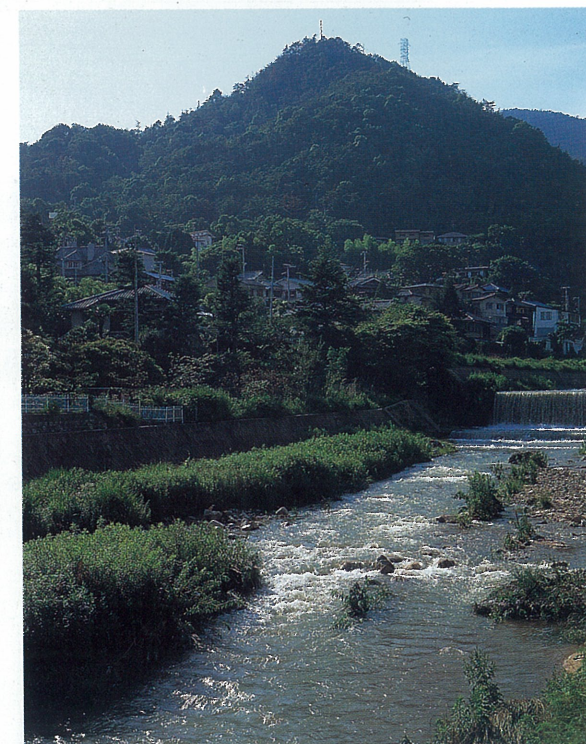
おたふく山ハイキングコース



野外活動センター「あしや村」でのキャンプ



暮れなずむ芦屋のまちに豊かな生活の明かりがともる



城山

まちづくり

芦屋浜シーサイドタウンは、「人間的な生活環境と自然豊かなまちづくり」をテーマに、「工業化工法による芦屋浜高層住宅プロジェクト提案競技」によって、広く民間の英知とエネルギーが結集されています。

町は中央を流れる宮川を境として、東西二つの地区で

構成され、その中央部分に高層住宅群、その周辺に中層住宅、独立住宅が配置され、公園も広々としています。中央地区には生活関連施設があり、車の通らない木立と花の道が続きます。



潮見町街並み



西浜公園



城山から望む芦屋浜シーサイドタウンの夜景



宮川大橋付近



21世紀の新都市を思わせる芦屋浜シーサイドタウンの幻想的な夜景

まちづくり

JR「芦屋」駅周辺は“あしや”の玄関口として、優れた都市機能を備えるとともに、エレガントな芦屋にふさわしい街づくりがすすんでいます。

アルパ（昭和58年）、ラポルテ（61年）、ラリーブ（平成元年）は、芦屋川の景観と閑静な街並みとの調和を目指し、国際文化住宅都市にふさわしいゆとりと憩いのある施設として整備されてきました。



ラポルテ前、ショッピング街



ラポルテ ペDESTリアンデッキ



生け垣のある街並み(東芦屋町)



アルパ芦屋



ラリーブ



石畳のある街並み(翠ヶ丘町)

文化活動

古くから芸術家や文化人が住んだ芦屋では、現在も多くの市民サークルが活動し、それぞれが自分の時を楽しんでいます。



芦屋市展 ユニークな前衛芸術の作品で話題を呼ぶ芦屋市展。芦屋美術協会を中心に運営されている。



童美展 幼児の持つすばらしい創造性を伸ばそうと昭和23年から開催される全国的にもまれな美術展。



公民館活動 毎年春と秋に行われる公民館講座のほか、有名講師を招いた、サマーナ・カレッジ、高齢者大学の芦屋川カレッジなど活発な公民館活動が行われている。



市民サークルの活動 現在市に登録されただけでも315団体が活動している。



ポトピア出展 昭和56年。市街地の模型や名産品を展示してPRした。



くにうみの祭典 昭和60年淡路島で開催されたくにうみの祭典には、芦屋から手工芸協会の作品が展示され、「芦屋市の日」には、芦屋大学軽音楽部の演奏が披露された。



ホロンピア「芦屋市の日」 昭和63年三田市で開催されたホロンピアでは、芦屋フォークダンス協会の華やかな演技が披露された。